

授業科目 看護の統合と実践実習	区分・教育内容 統合分野 臨地実習		
授業担当者 加賀谷 園子 (専任教員)	開講時期 中期	単位 2 単位	時間数 90 時間
授業の目的 医療・看護チームの一員として看護を実践できる能力を養う。 授業の目標 1. 看護管理の概要を理解できる。 2. 看護チームの一員として、援助の優先順位の考え方と時間管理の必要性を理解できる。 3. 医療チームの一員としての看護の役割が理解できる。 4. 自己の看護観を高め、職業人としての展望が持てる。			
授業概要 本実習は、これまでの専門分野・統合分野の知識・技術を統合して実務に即した実習を行い、看護管理とチームでの看護の仕事を学ぶ実習である。看護管理、チームで協働する看護、複数患者受け持ち、夜間実習といった看護活動の見学・実践を通し、臨床実践の中で必要となる基礎的な知識と技術を総合的に体験できる機会となる。患者ケアに優先順位をつけることの大変さや大切さを体験し、またスタッフ同士の情報共有の重要性を学ぶことができる。受け持ち患者中心の実習を終え、間もなく看護師として働く者として、看護のさまざまな業務場面を身近にしながら、自分自身が行動レベルで看護実践力を育むきっかけとしてほしい。			
授業計画(進め方) 1. 中通総合病院の8つの病棟で実習する。 2. グループを3班に分け、複数患者受け持ち、看護管理、夜間実習などをローテートする。 3. 看護師長、リーダー看護師、メンバー看護師、夜勤看護師の業務を見学し役割を学ぶ。 4. 患者を2名同時に受け持つ。看護計画を立案し、実践の中で援助の優先順位の決定や多重課題に対応できるようにする。 5. 受け持ち患者に必要な複数のケアの実施、一人で実践可能なケアの拡大、スタッフメンバーの協力を得て実践可能なケア、今まで経験したケアの深化、経験項目を増やすなど看護技術の向上をはかる。 6. 見学・実践した看護活動や最終日のカンファレンスを通し、自己の看護観、職業人としての意識を養う。			
テキスト 新体系看護学全書 看護の統合と実践① 看護実践マネジメント医療安全 メヂカルフレンド社			
参考書・指定図書			
評価の方法 評価表に沿って評価する。			